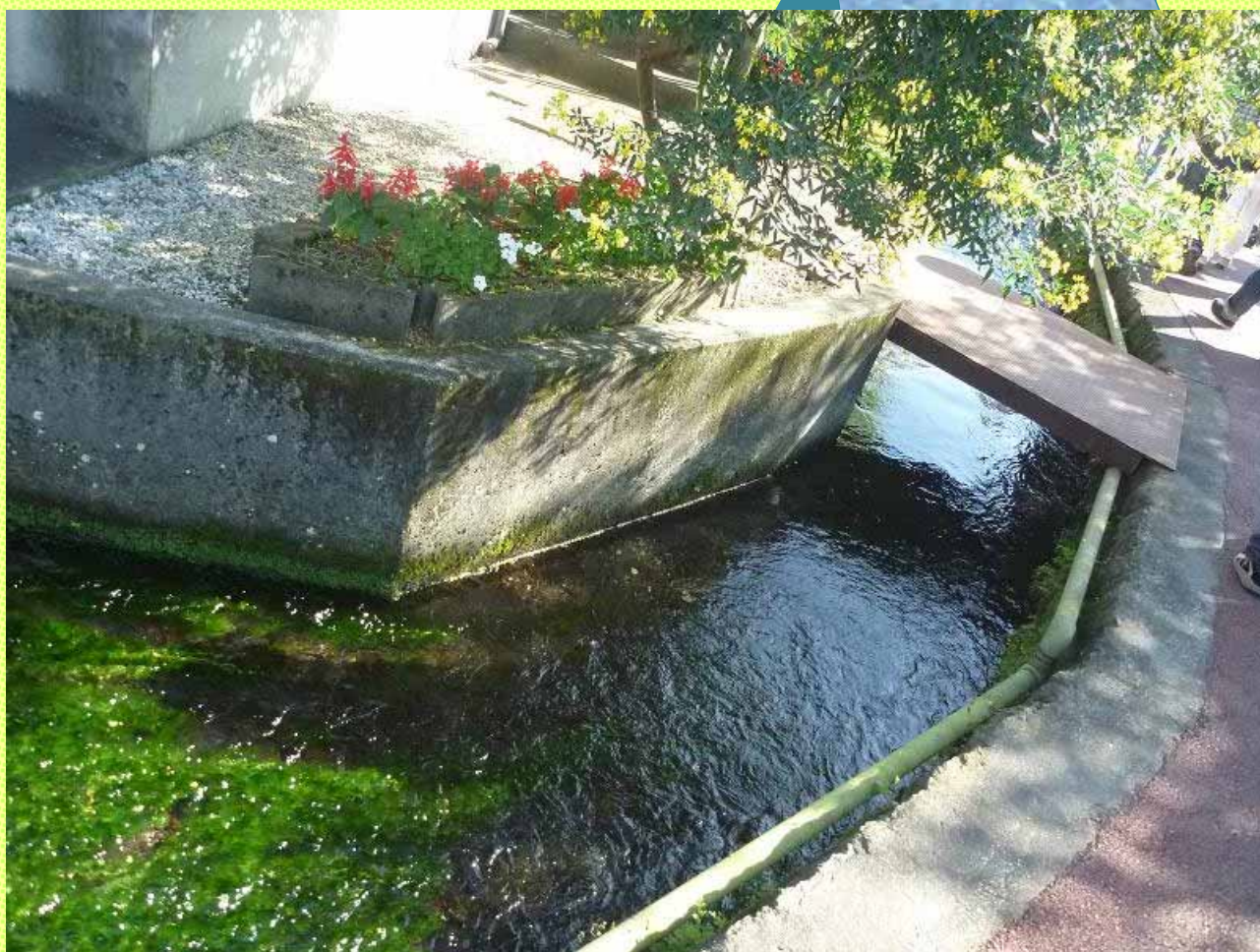
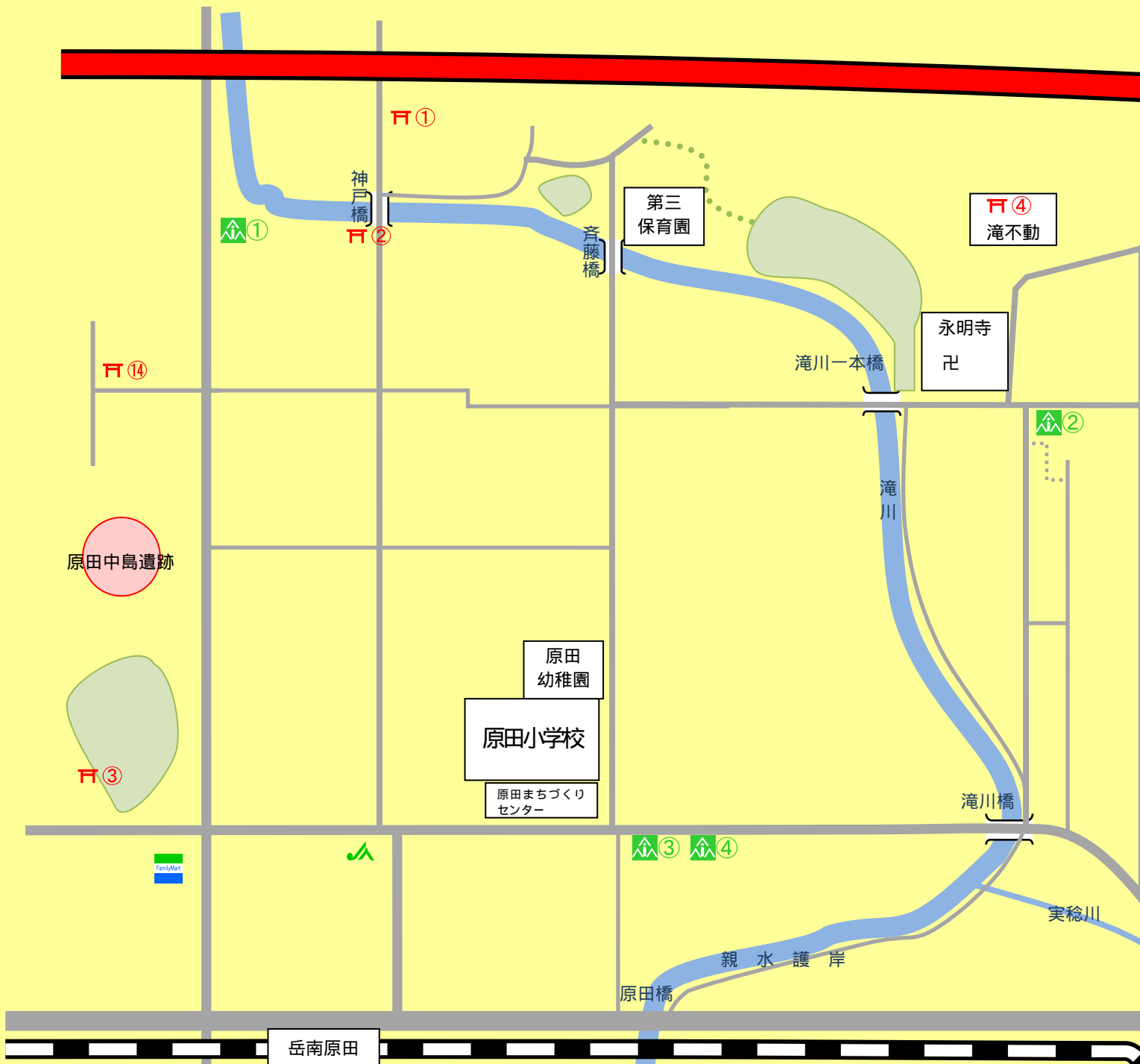


# 泉の郷 新発見



静岡県富士市東部  
湧水あふれる原田・吉永地区  
「泉の郷」案内



- 凡例**
- ・・・湧水ポイント
  - ・・・公園
  - F**・・・神社
  - 卍・・・寺
  - ・・・史跡・石碑・祠など
  - 山**・・・まちなか
  - ・・・お食事・お土産
  - ・・・水景のきれいなところ

# 泉の郷案内図



この冊子は、平成22～24年度に行われた原田まちづくりセンター講座「泉の郷案内所」および、「泉の郷新発見」で巡った場所を解説したものです。解説の内容は、講師と地元の受講生のお話が基になっています。

原田・吉永地区には、この案内で紹介した場所以外にも、たくさん魅力があります。車で通り過ぎるだけでは見えないその魅力を、のんびり歩きながら発見してみてください。今回紹介した場所は、岳南鉄道の駅から歩いていける場所ばかりです。富士市内の方はもちろん、市外の方にも、気軽なウォーキングコースとして、岳南鉄道とあわせてご利用いただければ幸いです。

# 公園

豊富な水を利用して作られた公園が、泉の郷の各地に作られています。駐車場が少なかったり、まったくない公園もありますので、できれば徒歩などでお越しください。

## 原田公園



富士山がよく見える広大な公園。公園内にはさまざまな見所がある。駐車場は広く、市外から来ても安心。詳細は巻末の案内を参照。富士山に見える、雪姫の観察ポイント。

## 原田湧水池公園



水車小屋があり、中には石臼もある。梅花藻のほか季節の花が見られる。誰かの植えたワサビもあつたり、水草は豊富。入り口が分かりづらいが、第三保育園向かい側の少し上ったところ。水景の美しさは一見の価値があるが、駐車場がないのが難点。

## 鎧ヶ淵親水公園



源頼朝がここで鎧を洗ったとの伝説から鎧ヶ淵の名前がついた。ほかに、淵の底で主に会った話などいろいろと伝説の残る場所。公園の奥へ抜けられる遊歩道があり、古い建物と湧水の景色が見られる。また、水遊びができるよう

に川へ下りられる場所もある。入り口に湧水ポイント。駐車場がないため徒歩で行く必要がある。

## 竹採公園



かぐや姫伝説の地。富士市のかぐや姫伝説では、かぐや姫は富士山に帰ったと言われる。公園内には物語に即して、竹取塚や水琴窟がある。開園時間 8 時半～18 時(冬季 17 時) 木曜休園。富士市のかぐや姫伝説の根拠は、白隠禅師の「無量寿禅寺草創記」である。この公園で、姫名の里まつりが毎年 9 月(中秋の名月近くの土曜日)に行われる。この祭りでは、夜には竹灯籠が灯り、大籠の舞や太鼓などが披露される。

## かがみ石公園



絶世の美女照手姫が身づくろいするときに水鏡とした平石(鑑石)がある。一帯には湧水が多く、梅花藻が見られる。六田川の起点で、池の中に碑がある。少しだがホタルが見られることも。駐車場は少なめ。

## 湧水公園



湧水池公園と名前が似ているが、別の公園。医王寺の前にあり、鯉がたくさんいる池ある。天気がよければ富士山も見える。駐車場は医王寺のもの。

# 湧水ポイント

市が設定した湧水ポイント。丸くて青い看板が目印。もちろんこの場所以外にもたくさんの湧き水がありますが、このポイントに指定された場所は、他のみどころからも行きやすい場所ですので、まずはこの看板を探してみてください。



この看板を見つけてください。各湧水ポイントに、番号付きで立てられています。

## 原田湧水池公園北側



流量が豊富な滝川の主水源。個人の住宅の下から水が流れ出ている。かつては搗き屋(穀物を精製する小屋)があった。

## 神戸橋北側



最も西に位置する湧水ポイント。川床から湧き出ている。ここのすぐ下流部には八千年程前の新富士溶岩流の跡が見られる。

## 鎧ヶ淵親水公園内



公園入り口、永明寺への階段付近にある。水量が豊富。

## 滝川公会堂脇



歩きでないと行きづらい狭い道の先にある。ここの湧き水には小さな魚がすんでいる。

## 滝不動(いぼとり不動)

不動像に流れ落ちている、いぼが取れるという水。



## かがみ石公園入り口付近



池の中に祠があり、富士市内で最初の梅花藻も見られる。六田川の出口。

## 竹採公園南



急坂の下にある。3区画に分けてあり、洗い物等に利用されている。汚れ物を洗うときは下流の方でやるのがマナー。

## 玉泉寺東



道の行き止まりの、ほとんど民家の中に見える場所にあり、少々分かりづらい。小魚がいる。この流れは玉泉寺裾を南下する。

## 吉永第一小学校北



湧水ポイントのすぐ近く。東側の、道路の曲がり角にある。

## 医王寺南側、湧水公園内



農産物を洗う等、近所の人にも利用されている。ここの公園には駐車場がなく、駐車場は医王寺の駐車場なので注意が必要。池の中には鯉がいっぱい泳いでいる。

## 長学寺南



最も東に位置する湧水ポイント。ここより東の湧水は富士山からの水でなく、愛鷹山水系になる。



# 祀お寺祀

観光寺院ではありませんが、花の名所だったり、ちょっとした休憩に使えたり、古い言い伝えの地であったり、また、目印にもなったり。古くからあるだけに重要な場所です。

## 祀 永明寺(ようめいじ)



鑑ヶ淵親水公園に隣接している。庭が見事だが、基本的に七福神以外は見学不可。棺桶の中身が消える話や七不思議など話題性のあるお寺。公衆トイレがあるのでウォーキングの休憩に。

## 祀 妙善寺



まちの駅にもなっている。観音像は市指定文化財。名馬・鬼鹿毛や照手姫の伝説が残る。9月には竹灯籠(竹かぐや)をたくさん並べる夜観音、旧暦の1月17日は、「滝川のお観音さん」で知られる妙善寺の新春大祭などでにぎわう。

## 祀 玉泉寺



曹洞宗。本尊は、地藏延命菩薩。福祉施設が併設されている。桜がきれい。階段が長い。高所からの景色が楽しめる。階段を下りてお寺を出た左手に、きれいなせせらぎを見ることが出来る。

## 祀 医王寺



浄土宗。創建は天平年間。薬師堂の薬師如来像は市指定文化財。ご開帳は3月第2日曜日のお祭りのみ。入り口右手奥にある階段を登った先のお堂にて見ることが出来る。その近辺に、天然記念物の榎がある。保育園が併設されているので車で行くときは注意が必要。

## 祀 長学寺



てがみ塚があり、11月23日(いいふみの日)に手紙や八ガキのお焚き上げをする「富士てがみまつり」が開催されている。湧水ポイントはここのお寺の前にある。

## 祀 題唱寺



日蓮宗のお寺で、正保2年(1645年)創建。湧水ポイントが裏手にある。

# 神社

建物は建て直されていても、かなり古くからあるものです。小さいものも多いですが、氏子さんたちによって大切に祭られています。鎮守の森の木陰で一休みすると涼しく過ごせるかもしれません。

## 五社神社



本殿の他に天神社、子の神社、社護神社、小田巻神社の4社があることから、五社の宮神社と呼ばれる。10年程前から、例祭が復活。昔、山から転がってきた美しい丸い孔の開いた石（仙人が首にかけていた石という説も）をまとめて埋めたこと

から環明神社と呼ばれていた。

## 水神社



神戸橋のたもとにある、小さいが雰囲気のある社。

## 飯森浅間神社



源平合戦のときに兵糧を置いたので飯守 飯森と名前が変化したとも言われる。かぐや姫の下卑を祀る。

## 滝不動（いぼとり不動）



ここの水をいぼにつけたらいぼが取れたという話がある。周囲の様子から、他と水の成分が違っているように見えるがよくわかっていない。

## 滝川浅間神社



にゆかりがあるとも言われる。歴史の古い神社。

## 金毘羅



住宅の間に見える小さな神社。かがみ石公園で放流したホタルがこの辺りで羽化したことがあった。

## 御崎神社



中比奈の産土神で源頼朝の縁がある。かつては浮島沼がこのあたりまで迫り、岬状の地形だったため、岬が転じて御崎になったといわれる。時季になると銀杏がたくさん落ちている。

## 八坂神社



天王祭が行われる。祭神は、素戔嗚命（スサノオノミコト）=牛頭天王。西比奈の神輿が置かれている。

## 子安神社



春日神社のすぐ隣。木花之佐久夜毘賣命（コノハナノサクヤヒメ）をまつている。

## 春日神社



西比奈の村社。例祭は10月16日。節分祭で知られている。源頼朝が富士川合戦のときに、ここと、諏訪神社、御崎神社に兵糧・武器を置いたという言い伝えがある。

## 中比奈天神社



松井管雅の句碑からすぐ北のところ。天神社だけに菅原道真を祀っている。この近くでも清流が見られる。

## 第六天神社



10月の例祭(10月16日近くの土曜日に開催)では第六天太鼓が勇壮に響く。ご神体は安山岩方形自然石の立石。神木は椎と榎。階段が急なのでご注意を。

## 諏訪神社



東比奈の村社。10月16日の例祭では大龍の舞が奉納される。

## 中島稲荷神社



原田中島の村社。祭神は宇加乃御魂神。山神社と金刀毘羅神社を合祀。7月13日・14日の直前の土日に行われる天王際は、神事でスサノオノミコトが入魂された神輿をご神体とする。

# 石碑・祠など

道を歩いていると、小さな道祖神や、祠などが目に付きます。どの町にもある、なんでもないものかと思いますが、地域によって形に特徴があったり、置かれた場所に謂れがあったりと、詳しく見始めると気になってくるものでもあります。

## 馬頭観音



新しく作り直されたもの。かつて馬は重要な労働力として大事にされ、手厚く祀られた。

## 小祠堂・男神



金精道祖神。なぜか原田には男神が多い。祠の中に石棒が3体。

## 小祠堂・女神



から南に下ったところの角にある。

## 永明寺参道入口の石碑



ここから滝川に沿って歩行者専用の道が永明寺入り口まで続いている。枝垂桜がきれいで、ドラマのロケ地にもなった。

## 野村一郎顕彰碑



吉原第三中学校の正面にある。六田川から比奈地区へ灌漑用水を引き、吉原港を整備、天下一製法など茶業にも貢献するなど、様々な功績を残した偉人を称える。

## 白隠塔



竹採公園の入り口にある。公園内にある墓石は、白隠禅師をはじめとする無量寺歴代のもの。白隠禅師は臨済宗中興の祖といわれる。

## 岳南忠霊廟



地域の戦没者を合祀。桜の名所で、2011年の3月からロダンの「考える人」像が飾られている。

## 松井菅雅の碑



「松に声ふくみて雪のあしたかな」と詠んである。190年くらい前に建てられたらしい。周囲は、交通量が多いので見学の際は注意が必要。

## 山本勘助の供養塔



医王寺の墓所内にある。由来の書いた石銘板とその横の像は先代住職の遺作。像は元々巻物を持っていたが、風雨にさらされ失われている。

# まちの駅

まちの駅は、買い物や旅先でちょっと休みたいなというときに座ったりトイレに寄ったりできる場所です。道の駅のような特別な施設ではなく、普通のお店や公共施設が、おもてなしのために活躍してくれています。ちょっとした観光案内なども聞けたり、お店ならその専門分野についての話を聞いたりすることもできます。

## 泉の郷の浮世床



サロン・ド・コンサル。泉の郷をはじめ、富士市内の各所の案内ができる店長さんがいる。園芸と髪の毛の悩みにも応えてくれる。オープンガーデンに参加中。

## かぐや姫の里ロッキー



コーヒーハウス・ロッキー。コーヒーもちろんおいしいが、手打ち蕎麦で有名。泉の郷のおいしい水で打った蕎麦を食べに行ってみよう。鶴首カボチャのスープも美味。

## 🏠 ほたるの里ギター酒屋



林酒店。原田地区のホテル情報はここで聞くとよくわかる。オリジナルラベルの清酒・原田を取り扱い。店の前の小さい水車は店主の手作り。また、ギター教室も開催している。

## 🏠 ほたるの里ゆうびん屋さん



原田の郵便局。風景入りの日付スタンプが押せる。

## 🏠 滝川のお観音さん



妙善寺。春の桜と、秋と冬のお祭りは必見。竹かぐや（竹灯籠）で幻想的な夜を楽しもう。イベント情報はウェブサイトで開催中。

## 🏠 よしわらのお弁当屋さん



吉原給食。フードアウトレットと称して美味しい食事を安く提供。

## ラタン / いさわや



比奈駅から歩いて5分。ビリヤード・ダーツのラタンと、手打ち蕎麦のいさわやが併設。

## つじや



医王寺前の湧水公園にある昔ながらの駄菓子屋さん。手作りかりんとうが有名。午後2時から営業。

## 市川精肉店



ローストチキンとコロケがおいしい。個人の小売店は仕入れから解体まで自分で行うため、大型店舗の肉より安くて美味しいことが多い。一度お試しを。

## 501



比奈駅前にある鉄道模型の店。尋ねてみれば岳南鉄道についても詳しく解説してもらえるかも。知識量が半端でないのは確か。岳鉄の社員も出入りしている。

## 喫茶まる二



医王寺近くの喫茶店。土日のみ営業。手作りケーキあり。

## 比奈カフェ



おしゃれな雰囲気のカフェ。比奈駅の近く。手作りケーキが美味。家具にもこだわっていてカフェの隣で家具屋さんも経営しているほど。

# お食事・おみやげ

ここにあげたのはほんの一例で、まだまだ魅力的なものはたくさんあります。車では通り過ぎるだけの道でも、歩けばステキなお店が発見できるはず。

## めん太郎



岳南原田駅にある立ち食い蕎麦・うどんの店。安くて早くておいしいと評判。

## One s Own (ワラシナ本店)



静岡市にもお店を出している雑貨屋さん。紅茶各種と、おしゃれ雑貨。元々ふとん屋さんなので寝具も扱っている。

## ラーメン田島



時代に流されない、昔ながらの味のラーメン屋さん。その味を求めて訪れるお客さんで、お昼時はかなりの混雑振り。なくなり次第営業終了なので、食べなくなったらお早めに。



岳鉄スターじいさん



# 駅・河川など

岳南鉄道線の各駅や、公共施設、河川などの解説です。

## 岳南鉄道（岳南電車株式会社）



古き良きローカル鉄道。廃線の危機にある。昔ながらの線路、車両、切符などが郷愁を誘う。原田小学校の児童が岳鉄のゆるキャラ「岳鉄スターじいさん」を考えた。岳鉄レンジャー、岳鉄イカシ隊が結成されるなど、地区の人たちが廃線にならない

よう活動している。泉の郷ウォーキングの際は、欠かせない重要な交通手段。会社名は岳南電車株、路線名は岳南鉄道線。

## 岳南原田駅



小学生の描いた絵が壁面を飾る。最近では駅前の駐車場と横の倉庫を使っのイベントもたびたび行われ、好評。イベント情報は岳南電車のウェブサイトで公開中。駅前には泉の郷の地図が設置されている。

## 比奈駅



姫名が転じて比奈になったといわれている。2011年までは貨物輸送の基地だった。貨物の牽引車もまだ使える状態で残っている。ここにも泉の郷の地図がある。

## 岳南富士岡駅



マップには書いていないが、比奈駅のひとつ東隣の駅。医王寺からまっすぐ南下した辺り。この駅の周辺までが泉の郷。岳南電車の車庫があり、車両の整備、点検を行っているため、停車中の車両が見られる。富士山雪姫の観察ポイント。

## 親水護岸



滝川沿いに歩ける道があり、工場と水のある風景が見られる。実稔川と滝川の分岐点もある。

## 滝川



富士山湧水の川。夏は水遊びの場にもなる。水温は15度前後と、夏でも冷たい。

## 実稔川（みとしがわ）



比奈耕地・生活用水への掘り割り。六田川を補充するために作られた。滝川から分岐している。親水護岸を歩いていくと、分岐点に水門が見える。その流れは、道路の下になることもあるので、どこからどこまで続いているのかが分かりづらい。

## 松原川



中島水神堂と原田中島遺跡からの湧水を水源として原田公園北から東を巡って南下、田宿川に合流する。

## 松原川と田宿川の合流地点



この地点を川原下という。松原川の勢いで田宿川の流れがさえぎられないように仕切りがある。田宿川は、海から川まで段差などの障害物がないため、天然鮎が遡上してきたり、その昔は、田子の浦から嫁入り船が上ったそうである。

## 六田川（むったがわ）



吉永地区への水利を図り、野村一郎などの尽力で作られた。川自体は、実稔川と同じく地上に見えたり地下に入ったりで起点からどこへ続いているかわかりづらい。

## 新掘川



斉藤橋の滝川を取水口として原田小学校の東から南下し、西へ流れて、松原川へ合流している。

## 原田まちづくりセンター



元原田公民館。原田小学校の前にあり、観光マップの配布、部屋の貸出や住民票の交付などを行っている。健康づくり一万歩コースのスタンプカードの配布、スタンプの押印ができる。

## 原田小学校



校内にビオトープが作られ、5月末～6月初めごろにはホタルが飛ぶ。原田地区の体育祭やパレードなどの舞台でもある。

# 原田公園案内図



原田公園は、富士市の中でも大きい公園で、市外からも親子連れなど、たくさんの方が遊びに訪れ、にぎわう。四季の花や遊具が充実しており、ゲートボール場付近からは富士山を望める。公園内は、高低差のある作りで、歩いて見るだけでも良い運動になる広さ。また、6月には原田地区のお祭りが開催され、出店やイベントで盛況である。

あまり知られていないが、公園建設に伴って発掘された宇東川遺跡は、縄文・古墳・平安・江戸時代までの大規模な複合遺跡で、古くから継続的にこの地区に人が住んでいたことを示している。

# 原田公園

## といずみの滝



雨水などが集まって流れ落ちている。といずみの語源は、今泉の御殿に送水していた水を送る樋(とい)から。

## 雨水貯留池



下流部の水害防止のため作られた。当初、10年に一度?と聞いた活用が、多いときは年に3・4回水入り。元々湿地でホタルが多かった。掘り下げたため、中島遺跡の小滝となっている。

## はたご石橋

えびどうに渡る橋の下にはかつて「はたごし」という石があり、工事の際に壊してしまったという話。子どもが横に寝れるくらいの大きさだったとか。

## えびどうの池



のでは?とされている。

貯留池建設時まで中島町の水源地だったところで古富士溶岩の下からの湧水を利用して作られている。もともとのえびどうは、下流の川床で、川えびが多かった、あるいは湧水口がお堂の形をしていたのが名前の由来なのでは?とされている。

## ゲートボール場



この頃はグラウンドゴルフ場として使われている。大雨の直後、水溜りに映る見事な逆さ富士が撮れることも。富士山の雪の中に、“雪姫”が見える。この北側には遺跡があり、縄文時代から人が住んでいたことを示している。

6月に行われる原田公園まつりのメイン会場になる。

## 遊具広場



特大ローラー滑り台、ネットクライミング、複合遊具などが人気。安全に遊べる、ロケーションも好いというのがファミリーに好評な理由。

## 洗い場跡



きれいな水辺で洗い物をした後が残っている。

## 手児の呼坂の碑



手児(若い娘)とアイヌの若者との悲恋が伝わる坂。異説もあり、清岩寺の呼子坂であるという説や元吉原にもそういう話があり、場所ははっきりしていない。

## 野外ステージ



6月のはじめに「ほたるの夕べ」コンサートが行われていた。草笛、ギター、コカリナの演奏など、地元の演奏家の生演奏が楽しめたが、平成25年よりこのコンサートは法雲寺で開催。

## 御殿・吹上水源池



中島水神堂より送られてきた水を溜めて、かつては一带の水源としていた。今は使われていないが、豊富な水を見ることが出来る。

## 中央広場



枝垂桜、紅葉の頃等、季節の花と水のある広場。ユニバーサルトイレもある。休憩に使える。また、富士山百景のビューポイントでもある。

## えびどうの河童

昔、えびどうの池の付近は、草木の生い茂る昼でも薄暗い場所、子どもだけで遊ぶのは危ないといわれていた。

ところがあるとき、子どもが数人、大人抜きで楽しもうと、このえびどうの池で遊んでいた。冷たい水に手を入れて、川エビを取ったり石を転がしたり。そのうちに、1人の男の子が、川床の岩の隙間に光るものを見つける。好奇心に駆られて手を入れてみると、突然その手がかっちり捕まり、どう頑張っても岩から手が抜けぬ。他の子どもが気づいて、男の子の周りに集まって、手を抜こうと引っ張るが、男の子が痛がるばかりでどうしても抜けぬ。しまいには、湧水の冷たさに唇は青くなり歯の根も合わず、どんどん体が冷えてくる。

子どもたちは、その有様に怖くなり怒られる覚悟で大人を呼びに行く。ひとり取り残された男の子は、泣きそうになりながら自分でも手を抜こうともがいていた。向こうから大人の声が聞こえた、そのとき、手を捕まえていた何かがいかに解けて、男の子は川床に尻餅をついた。そして男の子は岩の隙間から伸びた、水掻きのついた手を、確かに見た。それは、木漏れ日を反射してきらりと光る。すぐに岩の隙間に隠れてもう見えない。

そしてやってきたほかの子どもたちと大人とに、今見たものを話すけれど、同情されるどころか、怒られた。子どもだけで遊ぶから、河童の遊び相手に水底に引きこまれるところだったのだ、と。えびどうの河童は、遊び相手を増やすため、子どもを水に沈めて河童の仲間にしてしまうそうだ。

それから、その子たちは子どもだけでえびどうに来ることはなくなった。

